

和地ひとみレポート No.59

平成24年東大和市議会第3回定例会

一般質問『東大和市の学校給食施策について』

新給食センター建設を市の活性化につなげられないか？



■新給食センターの計画段階のうちに・・・

…9月4日から開催されているH24年東大和市議会第3回定例会において、和地ひとみは以下の2つのテーマについて一般質問をおこないました。

① 東大和市の学校給食施策について

- ・学校給食の現状と基本理念、基本方針に照らし合わせた課題について。
- ・学校給食と市の農業振興との関わりについて。
- ・新給食センター建設に伴う施策について。建物が一新することで施策も一新するのか。市全体に還元できる『市の活性化』を目指す施策があるのか。

② 市民との協働について

- ・現状と今までの取り組みについて。市職員の関わり方についてはどのようになっているのか。
- ・東大和市が考える『協働』の意味と、その庁舎内での認識の浸透について。
- ・今後について。(指針や条例など明文化の有無。今後、取り組む予定の協働事業の有無について)

…7月に正式に決定した給食センターの建設。約25億円のこの大事業は、より効果的に市全体の活性化につなげられる可能性があるため、①については計画の詳細が具体的になる前に質問すべきと考え、取り上げました。

■給食は東大和市のウリにできるはず

…現在2つある給食センターは築約40年と古いため、学校給食衛生管理基準を満たしていない、狭いためメニューに限りがある、個々食器が揃えられず正しい姿勢で食べる食育ができていない状況です。新センター建設後はそれらの課題は克服できるものの、それはマイナスがゼロ(当たり前)の事を満たすことになるに過ぎません。東大和市の学校給食基本理念の中には「魅力的な学校給食の提供」というものが目標とされています。昨今、足立区の学校給食の美味しさが注目されレシピ本も出て話題になるなど、学校給食を魅力あるものにするということは市の活性化にもつながります。子供たちの血肉となる栄養面だけではなく食育という観点からも、ふるさとを食を通して感じてもらい、思い出にしてもらうことは給食の大きな役割。このような給食の目的が変化した現状で東大和市ならではメニューというものについては、特に明確な回答はありませんでした。例えば5月に開催された『うまかんべえ～祭』の入賞作品を給食に取り入れることも可能なはずですが、それも実施されていないとのこと。メニューについては栄養面を考

え、毎年新たに10品程度を導入しているとの答弁でしたが「魅力的な給食」という点では更なる工夫が必要という認識を確認することができました。

■農業振興と食育をつなげることが必要

…行政サービスの面でよく話題にあがるのが同じ東京都なのにある区部と多摩地域の格差。しかし、地産地消を通じた食育という面では東大和市は区部よりも優位です。国の食育推進計画では2010年度までに地場産物を30%導入することが目標。東大和市の地場野菜の導入比率を確認したところ昨対85%増で4.2%、金額ベースになおすと3.4%に過ぎないとの答弁でした。さらに近隣市の状況を確認すると重量では16%～30%、金額ベースでは5%～19%との答弁。昨年より85%も伸びたとは言え、東大和市は近隣市と比較して極端に低い状況です。生産者からの購入価格は市場の価格と同等とのことですので、価格面で折り合わず導入できないのではない。では何が原因か確認したところ、給食に必要な野菜の種類、量などの情報がうまく伝わっていないことが原因なので、今後、改善しなければならないとの答弁。全国的にみても給食への地場産物の導入は自校方式よりセンター方式の方が量の確保などの問題で困難というデータが出ています。8000食をまかなう新給食センターの稼働前に、生産者の方に協力いただける体制を整え、生産者の方とのふれあいの中から様々なことを学び取れる食育に適した環境があることを東大和市の強みとする工夫を要望しました。さらに東大和市の農業のブランド化、町おこしの観点からも給食担当と農政部局の連携を強める必要があると提言しました。

■全国的にみても斬新なチャレンジは可能か？

…市としても大事業の給食センターの新設。それをより市民に「良かった」と言われるための工夫として、給食センターにコミュニティー施設を併設する可能性を確認しました。災害時に炊き出し施設となるセンターに多目的スペースがあれば物資の保管などにも転用可能。平時は公民館や市民センターの部屋のように有料で貸し出す、給食の試食会の会場にするなどで利用できます。財政上の問題で困難であるとの答弁でしたが、入口を分け、完全に分離すれば給食法にも抵触しないのですから、是非この斬新な取組を検討し、市民全員に役立つ施設にして欲しい。そういうチャレンジが町の活性化につながると強く依頼しました。